

## 県史別編「人口史」概要

## ●「人口史」の構成

## &lt;第 1 部&gt; 解説編

総説 静岡県人口の長期的変遷

第 1 節 静岡県域の誕生 (担当 鬼頭 宏)

第 2 節 人口推計 (担当 鬼頭 宏)

第 3 節 人口から見た静岡県域の歴史 (担当 鬼頭 宏)

第 4 節 静岡県人口の未来 (担当 鬼頭 宏)

第 1 章 静岡県の環境 (担当 日下宗一郎)

第 1 節 静岡県の地形

第 2 節 静岡県の地質

第 3 節 静岡県の気候

第 4 節 静岡県の植生

第 5 節 静岡県の動植物

第 2 章 古墳時代以前の日本列島人の人口 (担当 斎藤 成也)

第 1 節 旧石器時代～古墳時代の日本における人口変動の推定

第 2 節 DNA から見た現代日本人の祖先集団の人口変動

第 3 章 旧石器時代

第 1 節 旧石器時代の環境と遺跡の分布の特徴 (担当 中鉢 賢治)

第 2 節 旧石器時代人－浜北人骨－ (担当 日下宗一郎)

第 4 章 縄文時代

第 1 節 縄文時代の環境と集落の動向 (担当 中鉢 賢治)

第 2 節 縄文時代人の暮らしと食性 (担当 日下宗一郎)

第 5 章 弥生時代～古墳時代

第 1 節 弥生時代の環境と集落の動向 (担当 中鉢 賢治)

第 2 節 弥生時代人の暮らしと食性 (担当 日下宗一郎)

第 3 節 古墳時代 (担当 中鉢 賢治)

第 6 章 奈良・平安時代、鎌倉時代

第 1 節 奈良・平安時代 (担当 鬼頭 宏)

第 2 節 鎌倉時代 (担当 小和田哲男)

第 7 章 南北朝・室町時代～江戸時代 (前期)

第 1 節 南北朝・室町時代 (担当 小和田哲男)

第 2 節 戦国時代 (担当 小和田哲男)

第 3 節 支配者の交代と静岡県の人口 (担当 岡村 龍男)

第 8 章 江戸時代 (中期・後期)

第 1 節 江戸時代の人口 (担当 高橋美由紀)

第 2 節 宝永の富士山噴火と周辺村落 (担当 岡村 龍男)

## 第9章 近代の人口

- 第1節 幕末維新と静岡県的人口 (担当 岡村 龍男)  
第2節 明治中後期の6種感染症罹患率・死亡率に見る都市村落間格差 (担当 川口 洋)  
第3節 戦前期の人口移動と都市化 (担当 四方田雅史)  
第4節 静岡県民の海外移住、および静岡県内在住の外国人 (担当 四方田雅史)  
第5節 就業人口から見た戦前期の産業化動向 (担当 四方田雅史)  
第6節 静岡県出産史－産む人、産む人を支える地域社会 (担当 白井 千晶)  
第7節 明治～大正期静岡県人口の特徴 (担当 高橋 眞一)

## 第10章 現代の人口

- 第1節 戦時中、終戦直後の様々な人口現象 (担当 四方田雅史)  
第2節 経済成長と静岡県的人口－高度成長期から安定成長期にかけて－ (担当 岸 昭雄)  
第3節 低成長・人口減少社会と静岡県的人口 (担当 岸 昭雄)  
第4節 戦後静岡県における都市化・産業化の動向 (担当 四方田雅史)

## 第11章 静岡県人口の将来

- 第1節 人口減少局面を乗り切るための各種政策 (担当 岸 昭雄)  
第2節 これからの人口出生に関する展望 (担当 白井 千晶)  
第3節 結婚・家族形成 (担当 鬼頭 宏)  
第4節 超高齢社会 (担当 鬼頭 宏)  
第5節 外国人人口 (担当 鬼頭 宏)  
第6節 人口減少への適応と持続可能な社会の創造 (担当 鬼頭 宏)

## <第2部> 資料編

第1部解説編の根拠となる統計資料を掲載